

1「教師との関係」と「自分に対する考え」分析と傾向

【概要】

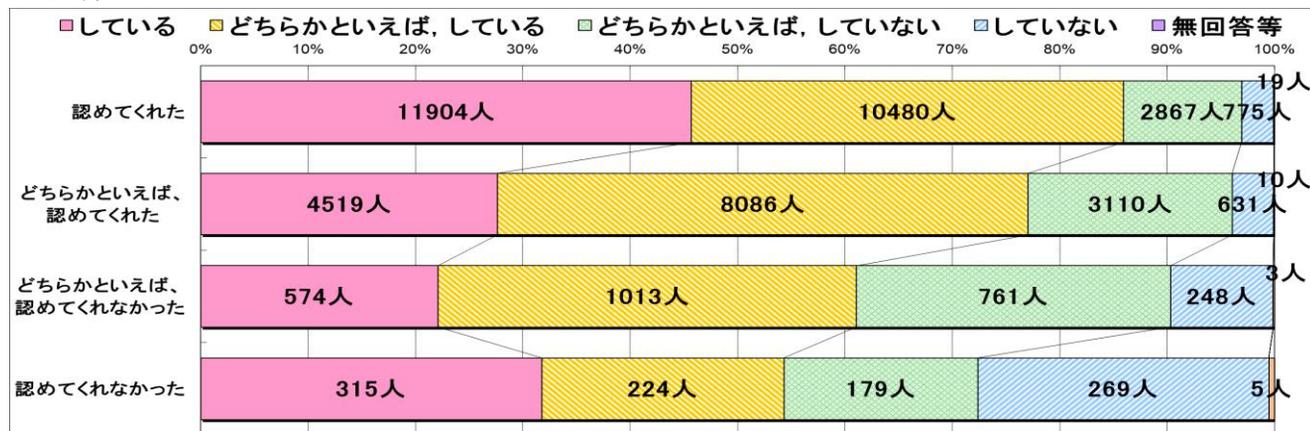
教師が「認めてくれた」という実感をもつ児童生徒ほど、自分自身について「難しいことでも失敗をおそれずに挑戦している」「どちらかといえば、している」と肯定的に回答する傾向が見られる。

また、児童生徒の多くは、「教師から認められていること」に対して「認めてくれた」「どちらかといえば認めてくれた」と肯定的に回答している。

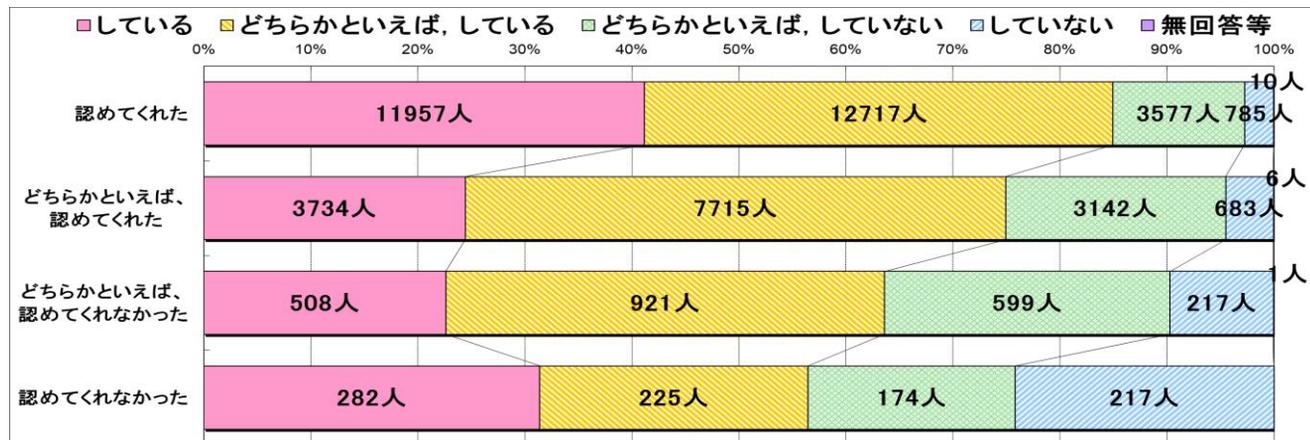
横軸カテゴリー⇒ **むずかしいことでもしっばいをおそれないでちょうせんしていますか**

縦軸カテゴリー⇒ **(前学年)学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか**

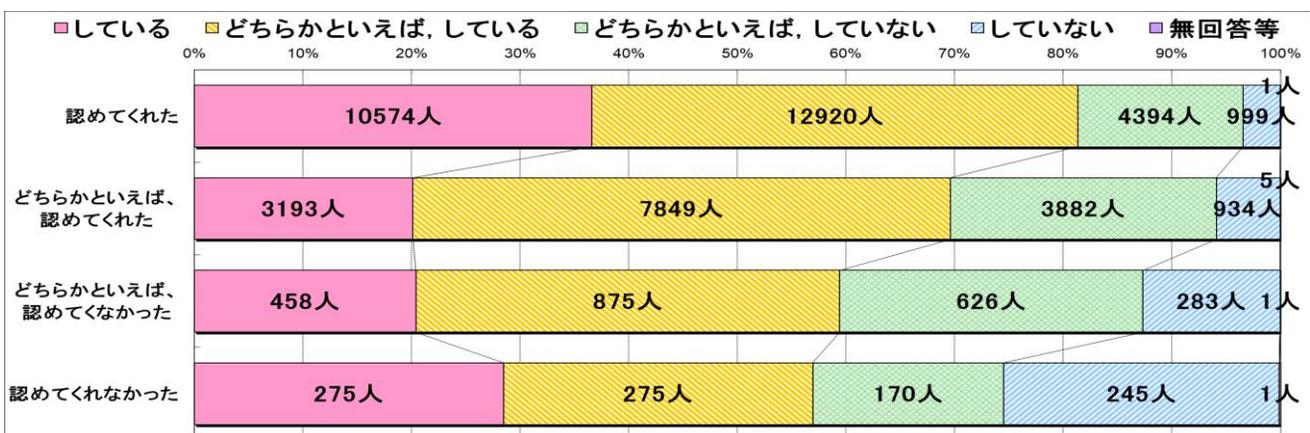
小学校4年



小学校5年



小学校6年



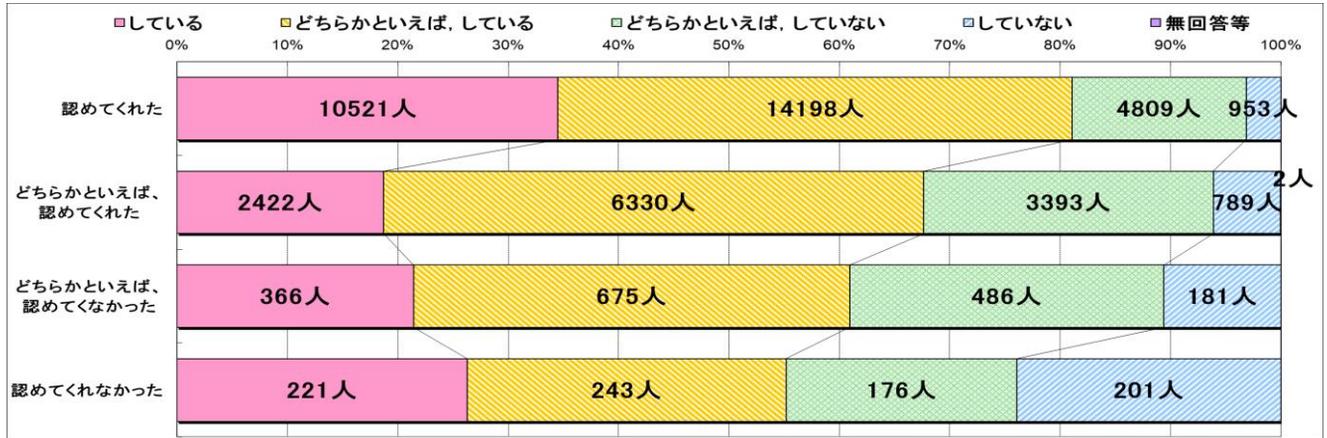
【先生方へのメッセージ】

- 児童生徒は自分の努力やよさを認められたり、ほめられたりすることによって、自己効力感や自信を高めていきます。
- 一人一人の児童生徒に自信をもたせる言葉かけを、継続的に行いましょう。
- 児童生徒が挑戦したときに、結果だけでなく過程を振り返らせたり認めたりして、次の活動につながる意識をもたせることが大切です。

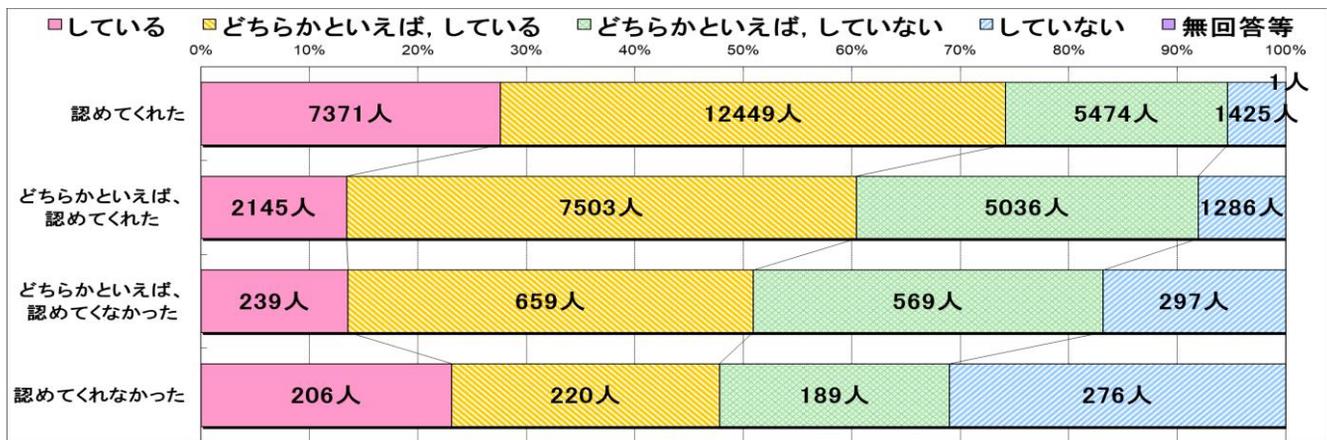
横軸カテゴリー→ **難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していますか**

縦軸カテゴリー→ **(前学年)学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか**

中学校1年



中学校2年



中学校3年

